

VII 文化財保護の推進

1 文化財保護関連施設

(1) 美祢市歴史民俗資料館



○ 概要

美祢市の地学資料・歴史資料および民俗文化財を総合的に調査・保存・活用し、郷土の歴史と文化財に対する市民の意識と理解を深めるため、昭和54年4月に設置され、さらに、平成18年5月に化石採集場を設置した。

○ 主たる事業

- ・資料の収集・保管および展示
- ・資料に対する調査・研究および利用
- ・化石採集場の利用・案内
- ・その他教育委員会が必要と認める事業

○ 収蔵資料

資料は、故岡藤五郎先生（S53. 7. 20逝去・当時大嶺高校教諭）が30余年にわたり収集整理された化石（約10万点）を中心として、市内伊佐町で栄え 220年間続いた売薬資料（県指定有形民俗文化財）、昭和45年の閉山に至るまでわが国最大の無煙炭田であった大嶺炭田資料、市内各地の遺跡より出土した埋蔵文化財、その他種々の歴史民俗資料を収蔵している。

○ 展示資料数

化石資料	636点
埋蔵文化財	272点
売薬資料	139点
鉱山資料	207点
農機具	167点
計	1,421点

○ 開館時間

9:00～17:00（入館は16:30まで）

○ 休館日

- ・国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
- ・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合その翌日も）

令和6年4月1日からの休館日は、
「月曜日（祝日の場合は、翌日以降の最初の休日（祝日含む）でない日）」
「12月28日から1月4日」となります。

○ 入館料

	大人	小人
個人	100円	50円
団体(20人以上)	80円	30円



○ 年度別資料館入館者数

（単位：人）

年度	一般	小中学生	団体	特別入館者	計
1	487	75	129	721	1,412
2	296	42	0	741	1,079
3	357	63	0	550	970
4	586	98	25	745	1,454
5	340	72	0	1,262	1,674
延入館者数					192,323

○ 令和5年度の主な事業

- ・美祢市歴史民俗資料館特別展
「太古の美祢」～大嶺炭田の化石とディキノドン類～
8月8日(火)～9月3日(日) 入館者 251人
- ・講演会
「哺乳類への道」～単弓類の進化と美祢のディキノドン類～
8月6日(日) 参加者 24人
- ・記者発表
「山口県美祢市産の三畳紀後期昆虫化石アミメカゲロウ目の新属新種5種について」
10月31日(火) 報道機関8社



◆ 美祢市化石採集場（歴史民俗資料館）

○ 概 要

日本最大の無煙炭の炭鉱であった大嶺炭田の一部である奥畑露天掘り跡を利用して建設された。この採集場に露出している地層は、美祢層群桃ノ木層と呼ばれている約2億3000万年前（中生代三畳紀後期）のもので、恐竜が出現した頃の時代の地層である。

○ 令和5年度化石教室の開催

- ・原則、毎月1回第3土曜日に開催
- ・予約制（約20名/回）
- ・小学生以上
- ・教育を目的とした市内学校関係での利用の場合は、要相談



○ 年度別採集場利用者数

（単位：人）

年度	一般	小中学生	団体	特別入館者	計
26	1,003	669	755	96	2,523
27	1,232	757	348	422	2,759
28	1,009	593	326	282	2,210
29	878	537	332	378	2,125
5	124	107		34	265
延利用者数					34,744

※平成30年度から令和4年度までは調査のため一般開放をしていない。

(2) 美祢市化石館

○ 概 要

既設の歴史民俗資料館の機能の一部移設により、化石を中心とした自然文化財の収蔵展示能力を高め、広く市民に体験・学習空間を提供することを通じて、市民のふるさと意識の高揚を図り、内外に当市の地域特性をPRするため平成7年5月に設置された。



○ 展 示 内 容

美祢市から産出する化石を中心に国内・外のものも比較のために加えた、せきつい動物コーナー、アンモナイトコーナー、昆虫コーナー、大型化石コーナー、体験コーナー、岩石・鉱物コーナーの6つのテーマで展示している。

○ 展 示 資 料 数

せきつい動物	89点
アンモナイト	117点
昆 虫	137点
大 型 化 石	35点
岩 石 ・ 鉱 物	163点
計	541点

○ 開 館 時 間

9:00～17:00（入館は16:30まで）

○ 休 館 日

- ・国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合その翌日も）

令和6年4月1日からの休館日は、
「月曜日（祝日の場合は、翌日以降の最初の休日（祝日含む）でない日）」
「12月28日から1月4日」となります。



○ 入 館 料

	大人	小人
個人	100円	50円
団体(20人以上)	80円	30円



○ 年度別化石館入館者数

（単位：人）

年度	一般	小中学生	団体	特別入館者	計
1	1,944	542	140	691	3,317
2	1,602	411	206	524	2,743
3	1,823	592	154	548	3,117
4	2,496	671	176	749	4,092
5	2,135	614	89	633	3,471
延入館者数					162,093

○ 令和5年度の主な事業

- ・ミニ企画展「秋吉石灰岩からの化石」ウミユリ類の化石
8月12日(土)～令和6年4月2日(火) 入館者 1,771人
- ・体験コーナーの開催 10回開催 参加者 54人

(4) 長登銅山文化交流館

○ 概 要

長登銅山跡等の発掘調査出土品を保存・展示し、市民の歴史と文化財に関する理解と知識を深め、併せて地域文化交流を図る目的で平成21年4月に設置された。木造瓦葺平屋建で建築面積は約369㎡、敷地面積約1,439㎡である。



○ 主たる事業

- ・長登銅山跡に関する資料の収集、保管及び展示
- ・長登銅山跡に関する資料調査、研究及び利用
- ・長登銅山跡見学者の案内
- ・地域間交流の促進
- ・その他、教育委員会が必要と認める事業



○ 展示資料

本館入り口付近において秋吉台の大型航空写真を掲げ、秋吉台地域の歴史・文化財を紹介している。具体的には長登銅山跡及びその周辺から出土した古代の銅製錬関係遺物や、江戸時代の寛永通寶鑄銭、岩絵の具「滝ノ下緑青」の製品など、日本の銅生産を理解する上で、貴重な遺物を展示している。特に、古代役所跡に想定される場所からの出土木簡は貴重で、木簡コーナーにおいて、分かり易い説明がなされている。館内のガイダンスシアター室では映像で奈良の大仏と銅との関係を紹介するとともに、大仏コーナーにおいて、天平時代の大仏模型を30分の1で復元展示している。

また、明治維新コーナーを設置し、維新の先駆けともなった大田・絵堂戦役の遺品等も展示している。

○ 開館時間

9:00～17:00（入館は16:30まで）

○ 休館日

- ・毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・12月28日～1月4日

○ 展示資料数

鉦	石	59点
埋蔵文化財	土器	232点
	石、木、土製品	71点
	金属製品	56点
	木簡（複製）	21点
	製錬関係遺物	125点
	獣骨その他	25点
緑青製造用具・製品		68点
銅製錬実験関係資料		10点
模型・遺構剥ぎ取り		5点
大田・絵堂戦役遺品		47点
現代銅製品		31点
計		750点

令和6年4月1日からの休館日は、
「月曜日（祝日の場合は、翌日以降の最初の休日（祝日含む）でない日）」
「12月28日から1月4日」となります。

○ 入館料

	一般	小中学生
個人（1人につき）	300円	150円
団体（20人以上）	250円	100円

○ 体験料（事前の申し込みが必要）

	1人につき
鑄造体験料	500円
木簡書道体験料	300円

○ 年度別長登銅山文化交流館利用者数

（単位：人）

年度	一般	小中学生	団体	減免	特別	研修室利用	小計	館外見学	計
1	1,000	73	344	350	1,284	1,790	4,841	1,943	6,784
2	918	158	535	328	660	1,445	4,044	1,909	5,953
3	975	190	754	389	976	1,398	4,682	3,457	8,139
4	1,117	179	1,298	259	848	1,459	5,160	2,417	7,577
5	1,170	177	769	422	1,092	1,678	5,308	2,202	7,510

○ 令和5年度の主な事業

- ・第16回銅山まつりの開催 10月22日（日） 参加人数520人
- ・第15回企画展「岩絵の具と日本画材の魅力」
令和6年3月19日（火）～令和6年4月7日（日） 観覧者207人
- ・花の山探検ツアー 令和6年2月17日（土） 参加人数16名
- ・鑄造体験の実施 随時 体験者944人



Ⅷ 秋吉台科学博物館の充実

1 美祿市立秋吉台科学博物館



○ 概 要

秋吉台地域の学術的発展と自然保護を目的として、昭和34年10月に開館した。約3億年の歴史を軸に、秋吉台の地質・古生物・地形・気象・洞窟・動物・植物・考古といった学問分野の観点から科学的に研究し、秋吉台の成り立ち、カルスト台地と人間のかかわりあいなどをわかりやすく解説している。

地域の小中学校の児童・生徒や全国から訪れる修学旅行生に対して、視聴覚機材を使った秋吉台の解説や化石採集の体験など効果的な学習指導を行っている。学芸員は独自に調査研究活動を行うほか、国内外を問わず来訪する大学等の研究者と共同研究を行っている。

秋吉台に関する各分野の資料を収集保管し、必要に応じて外部の研究機関への貸出も行っている。

令和4年度より、建て替えを前提とした秋吉台科学博物館建設基本構想策定事業を推進している。

○ 展 示 内 容

岩石・鉱物・化石・気象・動植物・考古学標本など約4,700点を展示している。模型やジオラマを用いた視覚的な展示と併せて、秋吉台の自然を理解しやすいよう工夫している。

多数の解説板や写真パネルにより、学問的理解を深めることができる。令和4年度には地球の歴史を解説する展示室を、また令和5年度には秋吉台とひとびとの関わりに関する展示を全面リニューアルし、多くの来館者に好評を得ている。

○ 令和5年度博物館入館者数等

月	開館日数 (日)	入館者数 (人)	前年度比	
			開館日数 (日)	入館者数 (人)
4	26	857	0	195
5	27	1,618	1	627
6	26	440	0	▲ 143
7	26	763	▲ 1	220
8	28	1,584	2	598
9	26	1,147	2	154
10	26	1,184	0	110
11	26	1,022	0	50
12	23	289	0	▲ 99
1	23	228	1	▲ 84
2	25	410	1	▲ 470
3	27	774	0	▲ 10
計	309	10,316	6	1,148

○ 開 館 時 間

9:00～17:00

○ 休 館 日

- ・毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・12月28日～1月4日

令和6年4月1日からの休館日は、
「月曜日（祝日の場合は、翌日以降の
最初の休日（祝日含む）でない日）」
「12月28日から1月4日」となります。

○ 入 館 料

無 料



○ 令和5年度の主な事業

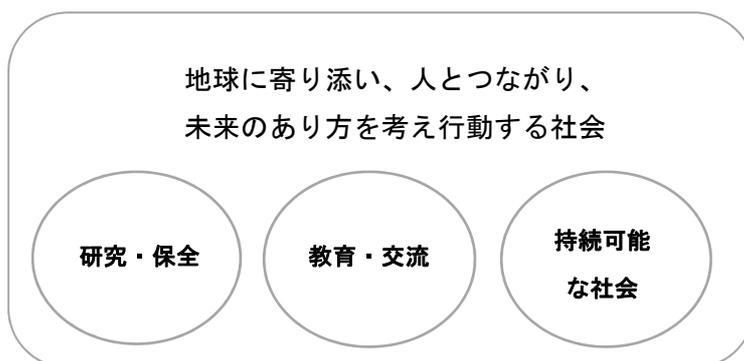
- ・市内小・中学校「総合的な学習の時間」等支援
- ・山口県立美祿青嶺高校 火道切り事前学習指導（11月15日）
- ・山口大学・大学院実習指導（4月22日、5月20日、6月4日、10月26日）
- ・博物館実習指導（東亜大学1名、7月31日～8月4日）
- ・修学旅行研修の指導（5月～11月）
- ・秋吉台の自然に親しむ会等との共催観察会（5月14日、8月27日、10月14日）
- ・ミニ特別展の開催：
 - ①大理石に保存されたウミユリ化石（令和4年5月10日～令和5年5月7日）
 - ②秋吉八幡宮の石材（令和4年7月12日～令和5年7月9日）
 - ③トラバーチンとオニックス（令和5年5月8日～令和6年5月6日）
 - ④地球の歴史展示室ができるまで（令和5年7月11日～令和6年7月7日）

Ⅸ ジオパーク活動の推進

1 目指す将来像

ジオパークは地域住民が主体となり、研究者、企業、行政と連携し、国際的に重要な地質地形遺産を研究し守りながら、各種教育に活かし、地域の自然や文化、人々の生活を未来へつないでいく活動である。

地球の遺産を未来の子どもたちに遺していくために、国内外のジオパークのネットワークを最大限活用し「地球に寄り添い、人とつながり、未来のあり方を考え行動する社会」を実現することを目標に掲げ活動する。



2 令和5年度活動実績及び令和6年度活動計画

○ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた主な取り組み

令和6年4月	ユネスコ世界ジオパーク国内推薦審査申請書提出
令和6年5月	日本ジオパーク委員会 公開プレゼンテーション
令和6年7月	ユネスコ世界ジオパーク国内推薦審査現地調査
令和6年11月	ユネスコ世界ジオパーク認定申請書（英語版）提出（予定）

○目標の達成へ向けた活動

「地球に寄り添い、人とつながり、未来のあり方を考え行動する社会」の実現に向かって取り組む内容を大きく次の三つの柱に分けて活動する。

- 【1】 研究・保全
- 【2】 教育・交流
- 【3】 持続可能な社会

【1】 研究・保全

地球が長い時間をかけて育んできた貴重な地質地形遺産の研究・保全活動をとおして、地球上で起きている気候変動などの環境問題や天然資源の利用などについて、考えるきっかけを作り、「未来の子どもたちに何を残していくのか、何が残せるのか」を見出し、「地球の遺産を知り、守る」という意識の醸成を促していく。

○山口大学との連携

学術支援及び協議会活動支援（秋吉台アカデミックセンターほか）
入見防災ジオカフェ講師（教育学部）

Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会主催イベント支援（地域未来創生センター）
大嶺炭田資料共同研究、歴史民俗資料館の展示物制作（工学部）
土産品開発支援（地域未来創生センター）

○その他学術機関・地域団体との連携

日本地質学会ジオパーク委員会などの学術機関との連携やイベント等において地域団体との共催や協力を行っている。

○保全活動・整備等

令和4年度～令和6年度	特別天然記念物秋芳洞再生事業
令和5年4月	二反田ため池清掃作業
令和6年3月	秋吉台カルスト TRAILRUN 遊歩道再生事業
令和6年2月	ジオサイト「荒川水平坑跡」水路蓋設置工事
令和6年3月	観光センター前看板貼替業務
令和6年3月	ジオパークセンター案内看板設置工事

【2】 教育・交流

○「ジオパーク学習導入のしおり」の作成

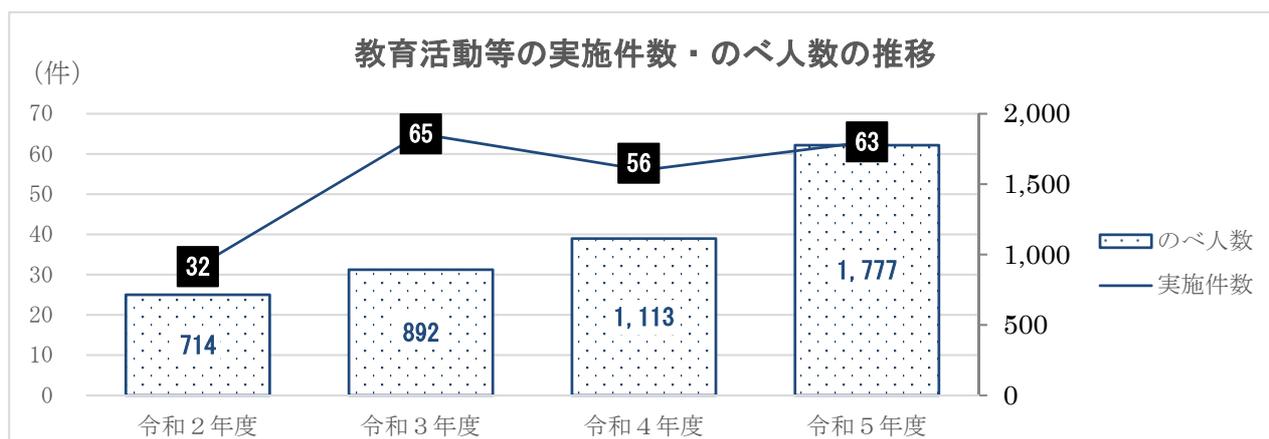
美祢市の小中一貫教育プログラムに沿って、教員が容易にジオパーク学習を取り入れられるように「ジオパーク学習導入のしおり」を作成した。このしおりは、写真や YouTube などの動画情報やジオツアーの校外学習モデルコースなどを盛り込んでおり、新たに赴任してきた教員でも活用しやすい内容としている。

○ジオパーク全国大会での学習発表

市内中学校が持ち回りで、ジオパークの全国大会において、学習の成果を発表し、さらに習熟度を深めている（令和5年度は、大嶺中学校3年生が発表）。

○他ジオパークとの交流

美祢青嶺高校美祢市探求プロジェクトジオパーク班の生徒とドンヴァンカルスト台地 UGGp、伊佐中学校1年生とおおいた姫島 Gp にある姫島中学校1年生とのオンライン交流など、他ジオパークとの交流を積極的に行っている。



【3】 持続可能な社会

○拠点施設 Mine 秋吉台ジオパークセンター カルスター

- ・2016年（平成28）年12月開設
- ・開館時間 9：00～17：00（年末年始休館）
- ・主な役割 UGGpの理念紹介、地質地形解説、観光案内などの情報提供、洞内環境モニタリング、ジオツアーの受付、レンタサイクル等の貸出業務、無料休憩施設、お土産品販売



○ジオパーク普及活動

毎月	広報チラシ「GEO協議会だより」の発行
令和5年6月～9月	NHK「プラタモリ」制作協力
令和5年6月・12月、 令和6年2月	ねむの会 出前授業
令和5年8月	桃ノ木露天掘り跡整備完了記念式典
令和5年9月	「萩ジオパークフェスティバル」出展
令和5年10月・11月	健康増進とのウォーキングイベント
令和6年3月	「元気っちゃ！みね健幸まつり」出展
令和6年3月	「美祢市生涯フェスタ」出展

○ジオパークイベントの実施

令和5年5月	防災ジオカフェin入見地区
令和5年4月	第2回防災・減災イベント「シル・マモル・カンガエル」
令和5年7月	ジオフェス2023 夏祭り
令和5年8月	集まれ！もりのこ Day Camp
令和5年11月	スミを使ってイモを食う
令和6年2月	ベトナムの祭典
令和6年3月	ジオ旅クエスト

○ジオツーリズム活動



○ジオサイト一覧（29箇所）

No	ジオサイト名	保護策
1	平野の花崗岩質片麻岩（正片麻岩）	市指定天然記念物
2	平野の蛇紋岩	
3	宮の馬場の玄武岩	国定公園
4	冠山	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園
5	北山	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園・ラムサール
6	帰水	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園・ラムサール
7	龍護峰	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園・ラムサール
8	長者錦採石場跡	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園
9	上曽原のチャート	
10	綾木の砂岩	
11	東渋倉の石灰岩ブロックを含む泥岩	
12	常森の含礫泥岩	
13	桃ノ木露天掘り跡	
14	奥畑の含化石シルト岩	
15	於福の花崗岩	
16	長登のスカルン鉱床（露天掘り跡）	国定公園
17	万倉の大岩郷	国天然記念物（万倉の大岩郷）
18	秋芳洞	国特別天然記念物（秋芳洞）・国定公園・ラムサール
19	景清穴	国天然記念物（景清穴）・国定公園・ラムサール
20	大正洞	国天然記念物（大正洞）・国定公園・ラムサール
21	中尾洞	国天然記念物（中尾洞）・国定公園・ラムサール
22	於福洞	
23	水神池（青池）	国定公園
24	白水の池の穴（湧水）	
25	別府弁天池	環境省選定名水百選
26	美東大滝	
27	真名のオヶ峠構造線断層露頭	
28	厚保の甌穴群（鬼の釜）	
29	厚保の原地性石灰岩	

○文化サイト一覧（14箇所）

No	文化サイト名	保護策
1	長登銅山跡	国史跡・国定公園・埋蔵文化財
2	末原窯跡群	県史跡
3	石屋形羅漢山磨崖仏	市指定文化財
4	青景銀山跡	国定公園
5	荒川水平坑跡	市指定文化財
6	美祢斜坑跡	
7	於福の石灰窯跡	

8	長者ヶ森	国特別天然記念物（秋吉台）・国定公園・ラムサール
9	江原ウバーレと集落	
10	帰水のドリーネ畑	国定公園
11	金麗社	
12	水神公園（乳守様）	
13	大石の棚田	やまぐちの棚田 20 選
14	葛ヶ穴	

○自然サイト一覧（3箇所）

No	自然サイト名	保護策
1	桂木山	市指定天然記念物
2	花尾山	
3	二反田溜池	

○無形文化財一覧（2件）

No	無形文化財	保護策
1	江原の森祭り	市指定文化財
2	別府念仏踊	県指定文化財

○ビュースポット一覧（3箇所）

No	ビュースポット	保護策
1	秋吉台カルスト展望台	
2	桜山総合公園	
3	雲海展望道路公園	

○拠点施設一覧（5箇所）

No	拠点施設	備考
1	秋吉台科学博物館	
2	秋吉台エコ・ミュージアム	
3	長登銅山文化交流館	
4	美祢市歴史民俗資料館	
5	美祢市化石館	

○ビジターセンター一覧（1箇所）

No	ビジターセンター	備考
1	Mine 秋吉台ジオパークセンター	通称：カルスター

m. Mine秋吉台ジオパーク マップ
That's Mine. It's Mine

131°15

131°30

- 色 範囲内の項目
- Mine秋吉台ジオパークのエリア
 - 秋吉台国定公園
 - 特別天然記念物秋吉台
 - ラムサール条約登録エリア

No	ジオサイト
1	平野の花崗岩質片麻岩
2	宮の馬場の赤砂岩
3	宮の馬場の赤砂岩
4	赤水の逆転断層帯石炭層
5	上智原のチャート
6	栗木の砂岩 (海成堆積物)
7	栗木の砂岩 (海成堆積物)
8	栗木の砂岩 (海成堆積物)
9	栗木の砂岩 (海成堆積物)
10	栗木の砂岩 (海成堆積物)
11	栗木の砂岩 (海成堆積物)
12	栗木の砂岩 (海成堆積物)
13	栗木の砂岩 (海成堆積物)
14	栗木の砂岩 (海成堆積物)
15	栗木の砂岩 (海成堆積物)
16	栗木の砂岩 (海成堆積物)
17	栗木の砂岩 (海成堆積物)
18	栗木の砂岩 (海成堆積物)
19	栗木の砂岩 (海成堆積物)
20	栗木の砂岩 (海成堆積物)
21	栗木の砂岩 (海成堆積物)
22	栗木の砂岩 (海成堆積物)
23	栗木の砂岩 (海成堆積物)
24	栗木の砂岩 (海成堆積物)
25	栗木の砂岩 (海成堆積物)
26	栗木の砂岩 (海成堆積物)
27	栗木の砂岩 (海成堆積物)
28	栗木の砂岩 (海成堆積物)
29	栗木の砂岩 (海成堆積物)

No	文化サイト
1	長谷御山跡
2	天原高野
3	石原形勢長山御堂仏
4	青雲御山跡
5	赤山大平寺跡
6	赤山大平寺跡
7	赤山大平寺跡
8	赤山大平寺跡
9	赤山大平寺跡
10	赤山大平寺跡
11	赤山大平寺跡
12	赤山大平寺跡
13	赤山大平寺跡
14	赤山大平寺跡

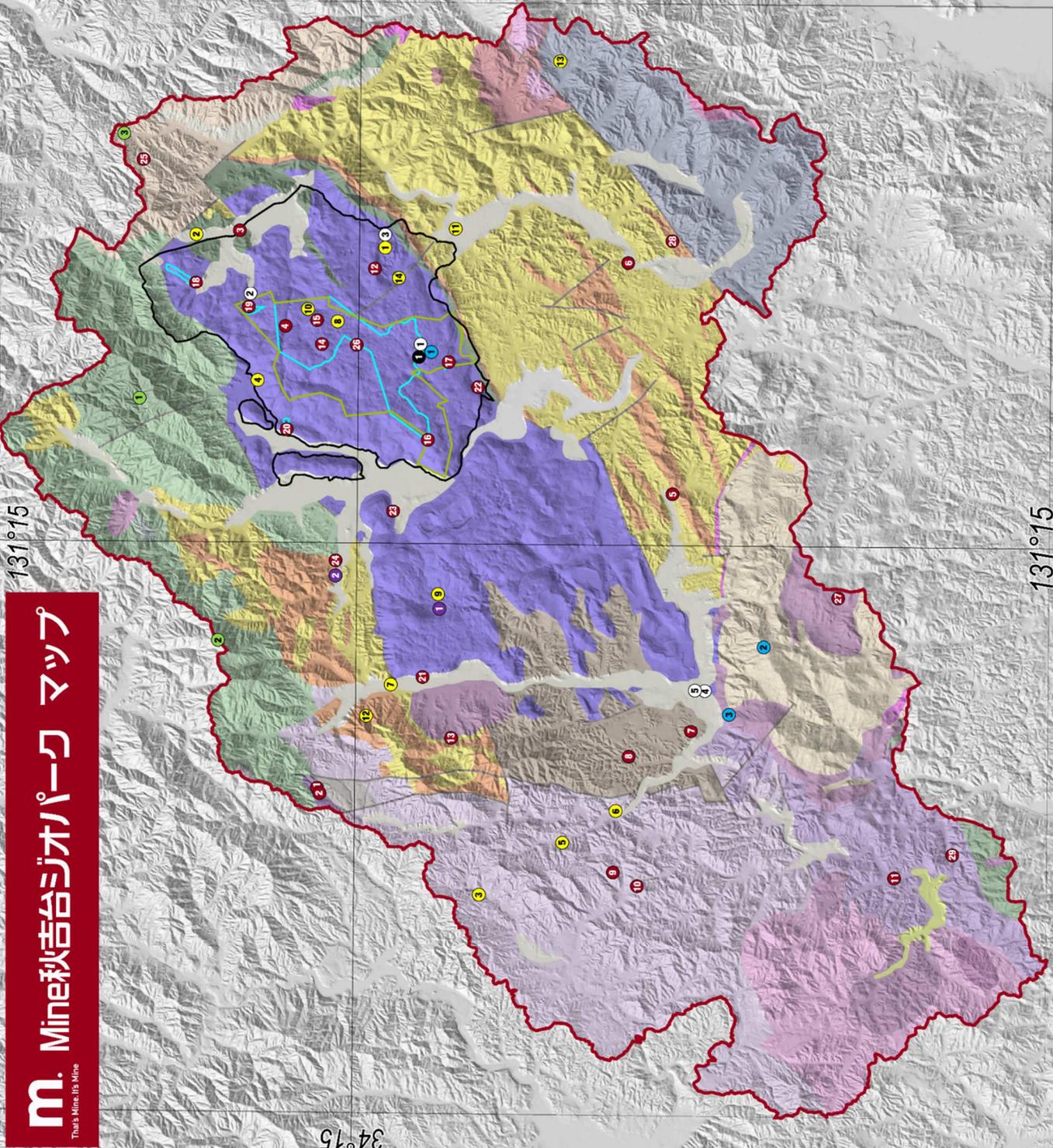
No	自然サイト
1	掛木山
2	花屋山
3	二反田瀧

No	無形文化財
1	江原の養蚕
2	別府念仏唄

No	ピュースポット
1	秋吉台カルスト展望台
2	桜山総合公園
3	常盤展望台

No	博物館施設
1	秋吉台科学博物館
2	秋吉台エコ・ミュージアム
3	長谷御山文化伝授館
4	栗木市歴史民俗資料館
5	栗木市化石館

No	ツアーシステム施設
1	Mine秋吉台ジオパークセンター



131°15

X その他

1 その他学校等施設の状況

(1) 県立学校

【令和6年6月現在】

学校名	所在地	電話	創立年月日	職員数 (人)	学級数	生徒数 (人)	備考
美祢青嶺高等学校	大嶺町東分299番地1	0837-52-0735	H25. 4. 1	57	12	175	普通科 機械科 電気科

※職員数は校長、非常勤職員、事務職員を含む。

学校名	所在地	電話	創立年月日	職員数 (人)	学級数	児童・生徒数 (人)	備考
宇部総合支援学校美祢分教室	大嶺町奥分2950番地1	0837-54-2922	H27. 4. 1	9	5	11	小学部 中学部

(2) 私立学校

【令和6年6月現在】

学校名	所在地	電話	創立年月日	職員数 (人)	学級数	生徒数 (人)	備考
成進高等学校	大嶺町東分3294番地	0837-52-1350	S41. 4. 1	46	11 (うち通信制 1)	344 (うち通信制 43)	普通科 総合ビジネス科 通信制

幼稚園名	所在地	電話	園長名	職員数 (人)	学級数	園児数 (人)				
						未満児	3歳	4歳	5歳	計
認定こども園伊佐中央幼稚園	伊佐町伊佐3895番地1	0837-52-0544	作本照子	32	6	27	11	23	20	81
認定こども園美祢幼稚園	大嶺町東分1853番地2	0837-52-0480	青木香雄	22	5	22	16	18	15	71

※職員数は校長（園長）、非常勤職員、事務職員を含む。

(3) 教職員住宅

住宅名	所在地	建設年度	戸数 (戸)	構造	建物面積 (㎡)
来福台教職員住宅	大嶺町東分字来福台5丁目1番2	H 8	12	鉄筋コンクリート3階建	644.19



2 教育委員会事務局及び教育機関の事務分掌

(1) 事務局

教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 総務班 — 教育委員、教育委員会会議、総合教育会議、請願・陳情、教育委員会規則その他の規定の制定・改廃、学校の設置及び廃止、学校の設備・備品の管理、教則員以外の任免・給与・分限・懲戒・服務、児童生徒の通学支援、公印、儀式及び表彰、公告式、寄附物品の受納、各課の連絡調整、他課の所属に属しない事項 給食センター準備室 — 給食センターの準備、調理場の管理運営
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 学務班 — 教職員の保健・福利厚生、通学区の設定・変更、就学・転学・退学、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、要保護及び準用保護の児童生徒扶助、教科書無償給与、日本スポーツ振興センター、奨学資金、児童・生徒の保健・安全、その他学務に関すること 指導班 — 教職員の人事・服務・管理、教職員団体、学級編成及び教職員の定数、教育課程・学習指導・生徒指導・進路指導その他の学校教育に係る専門的分野の指導、教科書採択やその他の教材の取扱い、教職員の研修、学力調査、学校保健会、学校人権教育、学校種間の連携及び接続、ことばの教室、学校、家庭及び地域の連携に関すること
生涯学習スポーツ推進課	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動推進班 — 生涯学習スポーツの推進、社会教育施設の設置・管理・廃止、社会教育及びスポーツ関係委員、社会教育及びスポーツ団体の育成・指導助言、学校、家庭及び地域の連携及び協働、青少年の健全育成、その他生涯学習、スポーツに関すること 人権教育班 — 人権教育の推進及び調整、人権教育の企画及び実施、人権教育推進委員会、その他人権教育 部活動改革推進室 — 中学校部活動の地域移行、地域クラブの活動支援
文化財保護課	文化財保護班 — 文化財に係る各種委員会、文化財の調査・保存・保護・伝承、文化財関係施設の設置・管理・廃止、文化財に係る学術資料の調査・収集・保護、その他文化財に関すること
世界ジオパーク推進課	ジオパーク推進班 — ジオパークの登録・認定、ジオパーク活動の推進

(2) 教育機関

各学校給食共同調理場	学校給食の調理その他の業務
各公民館	公民館の利用、施設・設備等の管理保全、定期講座、討論会・講習会・実習会・展示会等、図書その他資料の取扱い、スポーツ及びレクリエーション、各種団体、機関等の連絡調整、その他公民館の運営
各図書館	図書館の管理運営、資料の収集、整理保存及び利用、館内及び館外の利用、読書案内及び読書指導
美祿市立秋吉台科学博物館	科学博物館の管理運営、秋吉台に関する石灰岩関係資料収集・保管及び展示、石灰岩関係調査及び研究、秋吉台の知識普及、秋吉台の保全資料収集
美祿市歴史民俗資料館、化石館	歴史民俗資料館及び化石館の管理運営、資料収集・保管・展示、資料調査・研究・利用、採集体験指導、資料の知識普及
美祿市長登銅山文化交流館	交流館及び長登銅山跡の管理運営・観覧・利用、資料収集・保管・整理・展示、資料調査・研究・利用

